

## 新年のご挨拶

岩手県公立高等学校事務職員協会 会長 佐藤 達夫



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は一昨年に引き続き、新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。

年前半に落ち着きを見せ始めた新規感染者数が、6月から増加に転じ、8月には、1日の新規感染者数が国内で2万人を超え、感染の爆発的拡大により、21都道府県に緊急事態宣言が発せられました。

岩手県においても人口10万人当たりの新規感染者数が25人を超えたことから、県独自の緊急事態宣言が発せられ、学校行事や各種研修会、会議等は軒並み延期、中止となり、県内教育機関において、緊張を伴う対応を強いられました。

当協会としても、新採用者・転入者等研修会の中止や、研究大会の書面開催等の対応を取らざるを得ず、会員の皆様に、本来あるべき研修の機会を提供できなかったことに、この場をお借りして、衷心よりお詫び申し上げます。

新型コロナウイルスの新規感染者は、8月下旬を境に激減し、12月には全国の1日当たり新規感染者数が100人台となり、ほぼ収束の段階まで来ているのかとも思われましたが、年明けから、新種株の感染拡大も報じられ、まだまだ楽観できる状態には至っておりません。

コロナ禍の中であって、我々の希望の灯となったのが、奥州市出身、メジャーリーグ、エンゼルスの大谷翔平選手の活躍でした。

大谷選手は2018年オフの右肘手術以来、リハビリと並行しながらのメジャーリーグ挑戦でしたが、同リーグ4年目の今年は開幕から躍動し、現代野球では前例のない「二刀流」の活躍は、日本のみならず、全米、全世界のファンを魅了しました。

また、八幡平市出身のスキージャンプの小林陵侷選手も、ワールドカップで今季すでに6勝を挙げ、自身の持つ日本男子のワールドカップ最多勝利数を通算25勝に更新するなど、好調なスタートを切っており、今年2月に開催される北京オリンピックにおいても、メダル獲得が有望視されています。

岩手で生まれ、岩手の教育を受けて育った子供たちの活躍は、教育の一端を担う、我々事務職員の矜持であり、今後一層の活躍を期待するところです。

学校現場に目を向ければ、日本の学校の授業におけるデジタル機器の使用時間がOECD加盟国で最下位であるとの状況から、児童生徒1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するための予算が措置され、岩手県においても「学びの改革プロジェクト」が発足し、令和3年度末において、県立学校の全児童生徒に1人1台端末が整備されるとともに、ICT活用による授業実践のほか、新型コロナウイルスや新たなウイルスによる感染症対策としてのオンラインによる家庭学習支援環境の整備等が進められるなど、教育環境の歴史的転換点を迎えています。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正によって、任意だったコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置が努力義務となったことから、県立学校においても設置が必然となります。

従来の拘束力がない学校評議員会とは異なり、学校運営協議会が学校運営の基本方針の承認や学校運営、教職員の任用等に関しても意見を述べるができることとなり、事務職員にとっても「地域とともにある学校」への変革に対応することが求められることとなります。

当協会においても、令和3年度に改革検討チームを立ち上げ、全会員に対するアンケートを実施し、変革の時代に柔軟に対応できる組織の在り方や運営方法について検討を進めています。

最後になりますが、今後とも、会員の皆様の力をひとつにして、本会の活動を進めて参りたいと考えておりますので、協会活動に対する一層の御理解、御協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様のますますの御活躍を祈念し、新年の挨拶といたします。

## 第58回岩手県公立高等学校事務職員研究大会（書面開催）

令和3年12月14日

胆江支部の研究発表について、感想をいただきました。3名の方々お忙しいところありがとうございました。

### 千厩高等学校 主事 仲村 陸海

今回再任用職員に係る事務手続き一覧を拝見し、自分の業務状況を確認し事務手続きを執行していくことの大切さを改めて再確認しました。

現在私は、給与や庶務を担当しています。業務を通して勉強になることが多いです。また再任用職員の方と話し感謝されることもあり、やりがいがある業務だと実感しています。

一方で、給与の入力や共済組合関係の処理、社会保険や住民税などその手続きは多岐に渡り、確実に業務を進めなければいけないと実感しています。

今回の研修資料事務手続き一覧では時期・職員の区分・具体的な提出先や手順などが詳細に、わかりやすくまとめられており、非常に参考になりました。私はまだ雇用保険や社会保険などを担当したことはありませんが、このように一覧になっていれば事前に処理準備や工程確認ができ、事務処理の漏れが少なくなるのではないかと思います。また、定年の延長が段階的に上がり、手続きや処理の煩雑化が予想されます。

事務手続きの一覧を確認し、新たな業務や事務処理に対応していかなければいけません。事務手続き一覧はこれからの業務遂行の一助になるものと感じました。

再任用職員事務手続き一覧は、非常に簡潔でわかりやすくまとめられており、若手職員にとって大変参考になる資料だと思います。しかし、資料は確認して終わりというだけではなく、なぜこの手続きが必要なのか自分で理解し、自信をもって業務を遂行していく必要があります。今後も目標に向かい、研鑽を積んでいきたいと思っています。



### 盛岡南高等学校 主任主査 日影 弘子

本大会についての感想を求められ、改めて要項や資料を見直しました。大会の目的として「高等学校、特別支援学校における学校事務に関する諸問題を協議し、学校事務の合理化と事務職員の資質を高め、学校教育の目的遂行に寄与する。」とあります。

また、大会テーマは「教育の改革と発展

をめざして」です。この二つに共通しているものは「学校教育（教育）」です。私たちの業務は、生徒、児童への直接的なものではありませんが、事務職員として資質を高め、業務の合理化、効率化を図ることは、学校教育の目的に大きく関わることだと考えます。

今回発表のあった研究は、再任用職員に係る事務手続きについて整理し、一覧にまとめています。

昨年度末から年度初めにかけて、再任用職員に係る手続きを行いました。そもそも何をしなければならないのかから始まり、一般職員の異動とは異なる住民税や雇用保険の手続きにかなりの時間を要してしまいました。

研究の成果である一覧表は、年間の作業内容、手順、締め切り、提出先等があり、また注意点などもまとめられています。この一覧表により、必要な事務手続きの見通しを立てられ、手続き漏れを防ぐことができます。また、本校では常勤の任用だけでしたが、短時間の場合はさらに社会保険などの手続きが必要になることなど再確認しました。

今後の再任用職員の手続きについて、この一覧表を活用していきたいと思えます。

学校事務に関する研究をすることは、業務の見直しをすることができるとともに、改善点を見つけ、合理化、効率化を図ることにつながります。ただ、そのための時間をつくることは、大変厳しいと感じます。

転入職員の増加、新採用職員、欠員など、学校事務室の状況は変化しています。この変化の中、私たちが業務遂行する目的はこれまでと変わらず、学校教育への寄与だと思えます。状況は変わっても目的、向かう方向は同じです。その手段としての学校事務の合理化、効率化、事務職員の資質向上だと考えます。

今回の研究も含め、過去の研究成果をもう一度見直し、これからの業務に活用していきたいと思えます。

## 大東高等学校

主査行政専門員兼事務長心得 三浦 克志

再任用職員については、それぞれの学校に常時勤務職員や短時間勤務職員が任用されており、私自身も事務手続きのマニュアルがあったら助かると思っていたところでした。

これまでは、再任用職員制度を理解するために岩手県教育関係者必携を開いてみたりしたのですが、読んでみても実務経験がないと自信をもって手続きを進められなかったり、よく理解しないままに思い込みで進めると思わぬ落とし穴がありそうで不安だという思いがありました。

この度の研究発表では、再任用職員の事務手続きについて、業務を網羅的に把握し、マトリクス図的な縦軸・横軸の着想により個別業務を整理した上で、それらをデータベースとして構成したものと理解いたしました。

データベース化したことで、今知りたい手続きを任用形態や業務種別などの複数軸の組み合わせで検索することができ、また、年間の業務手続きを体系的に見通して把握したいときなどに、すごく便利なものであると感じたところです。

本年度から十数年振りに給与事務担当者となった私にとっては、再任用職員の事務手続きの再認識と、見落としがちな手続きなどをフォローしてくれるたいへん有意義な研究発表がありました。胆江支部の研究委員の皆さんに、一担当者として感謝いたします。

### 今後の予定

R4. 1.12 全国協会  
令和3年度事務職員研修会  
オンライン研修



～つながろう今、つなげよう未来に～